

令和4年度 事業報告



社会福祉法人 心和会

めぐみの社

<経営理念>

「社会・地域における福祉の発展・充実」を使命とする

- ①利用者一人ひとりの個性や特徴を大切にする
- ②身体的にも精神的にも家庭的な雰囲気の中での生活をめざす
- ③広く地域に開放し、地域に支えられた暖かな出会いとふれあいの場づくり

<行動方針>

- ①高齢者福祉施設として地域に貢献するとともに、地域社会との調整・交流を重視した事業の展開を図る。
- ②変動する社会および利用者個々の状態やニーズに即したサービス供給体制の確立を目指し、施設全体として、介護・サービスの質の向上に努める。
- ③職員の介護・福祉理念、対人援助技術の向上を図るとともに、一人ひとりが人としての豊かさ・人間力を高め、やりがいや楽しみを感じながら、互いに切磋琢磨し、ともに成長できる職場環境の構築に努める。

<特別養護老人ホームめぐみの杜 スローガン>

「将来の自分や家族が利用したい」と思える施設作りを目指します。

1. 総評

令和4年度においても終始、新型コロナウイルス感染予防と入居者様・利用者様・職員の安全を最優先に、安心した施設環境構築と結びつき、強化に力を入れた一年となりました。

10月～11月にかけては新型コロナウイルス感染症クラスター発生により、これまでにない事態を経験することとなった。この度の経験により、施設内の連携がより盤石なものとなり、感染管理体制や、職員の感染防御の知識・技術に対する研鑽を図ることができたと考えております。

運営においては、これまでと同様に職員の資質向上に重点を置き、各委員会にて事故や感染対策などの課題解決、施設内研修やオンライン研修の充実、参加促進を行い、ご入居者、ご利用者個々に応じたサービス向上を目指してまいりました。

大きな課題の一つである介護・看護人材の不足の解消については、人材確保のため求人媒体や職員紹介制度などにより人材確保を進めてきましたが、好転する気配はなく人材不足の解消には至らなかった。

一方では技能実習生や特定技能外国人の採用を継続、真面目で積極的に学ぼうとする姿勢からも戦力となるまでに時間を要することなく、深刻な状態に陥ることはなかった。

2. 職員の状況

(令和5年4月1日現在)

単位：人

	特別養護老人ホーム	通所介護	居宅
施設長（管理者）	1	—	—
管理者	—	1	1
【相談室】			
主任 相談員	1	—	—
相談員	1	—	—
相談員（通所介護）	—	1	—
介護支援専門員	1	—	1
【介護課】			
主(副)任 介護職	2	—	—
介護職（常勤）	18	2	—
介護職（非常勤）	18	3	—
介護補助職	6	—	—
技能実習生（インドネシア）	4	—	—
特定技能1号（インドネシア）	8	—	—
機能訓練指導員	—	1	—
ドライバー	1	1	—
【医務室】			
主任 看護師	1	—	—
看護師	3	（配置）	—
【栄養課】			
管理栄養士	2	—	—
【事務職】			
経理	1	—	—
総務	1	—	—
合計	69	9	2

有資格者状況（複数資格者含む）

介護福祉士	19
介護初任者研修修了	14
介護実務者研修修了	3
ホームヘルパー1級	0
ホームヘルパー2級	7
主任介護支援専門員	2
介護支援専門員	3
社会福祉士	1
正看護師	2
准看護師	2
管理栄養士	2
柔道整復師	1
認知症介護基礎研修	1
無資格	0

令和4年度
技能実習生（国籍：インドネシア）
4名採用

3. 入居者・利用者の状況

(1) 特別養護老人ホームめぐみの杜

利用定員 80名 稼働率99.5%

特養入居を前提としたショートステイサービス長期利用者を一定数受け入れ、退去後の空床期間を短くするため待機者への声かけを行い状態把握に努めてきた。こうしたことを常に意識し実行してきたことにより目標の稼働率を維持することができた。

利用者が安心して充実した生活が送れるよう定期的にサービス担当者会議を開催し、家族からの要望や介護上での課題の検討、見直しを行うことができた。サービス担当者会議の内容、普段のケア記録や連絡ノートに内容を記載し、多職種と情報共有を図り個別的ケアにも繋げることができた。

看取り介護においては、最期までその人らしく過ごして頂くことを目標として、年度内に 1名の利用者を見送った。家族を含めた多職種協働を重点におき、嗜好品の提供やコロナ禍の中感染対策を講じつつ、本人と家族が穏やかに過ごせる空間作りに努めた。

令和4年度 稼働率と平均介護度

特養	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
稼働率	99.8%	100%	99.0%	99.8%	99.6%	100%	99.6%	98.3%	99.5%	99.3%	99.6%	99.6%	99.5%
平均介護度	4	4	4	4	4	4	4	3.9	3.9	4	4	4	4.0

令和4年度 新規入居者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性			2		1								3
女性	2		2	1				2	1	1	3	1	13
計	2	0	4	1	1	0	0	2	1	1	3	1	16

令和4年度 退去者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性								1					1
女性	2		4	1	1		1	1	1	2	1	1	15
計	2	0	4	1	1	0	1	2	1	2	1	1	16

年齢・性別 (令和5年4月1日現在)

(単位：人)

	65歳未満	70～74歳	75～80歳	81～84歳	85～89歳	90歳～	100歳～	計
男性			1	3	6	2		12
女性	1	2	5	9	22	27	2	68
計	1	2	6	12	28	29	2	80

※平均年齢 87.7歳 (男性 86.0歳/女性 88.0歳) ※性別構成比 男性 14.8% 女性 85.2%

要介護度別 (令和5年4月1日現在)

(単位：人)

	要支援1	要支援2	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	その他	計
男性					3	6	3		12
女性					18	30	20		68
計	0	0	0	0	21	36	23	0	80

(2) 短期入所生活介護

利用定員 20名 79.2%

稼働率も安定して推移。新型コロナの影響もあり目標としていた稼働率80%に届かなかったものの、前年比としては101%を達成することができた。評価として、他事業所訪問や電話連絡にて利用者の様子を随時に報告したりと積極的な活動により関係構築を築くことができたことが実績につながっている

令和4年度 稼働率と平均介護度 ※赤字、新型コロナウイルス発生月

特養	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
稼働率	72.3%	87.1%	83.7%	77.4%	86.9%	87.8%	75.1%	54.2%	82.1%	81.6%	74.5%	87.2%	79.2%
平均介護度	3.2	3	3.1	3	2.9	2.9	2.9	2.9	2.7	2.9	2.8	2.9	2.9

令和4年度 利用実人数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男性	16	19	18	15	19	18	15	8	17	18	19	23
女性	21	28	27	28	29	28	26	23	31	31	31	30
計	37	47	45	43	48	46	41	31	48	49	50	53

令和4年度 要介護度別 構成比

	要支援1	要支援2	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5
構成比	0.4	0.4	14.0	14.6	36.4	30.5	3.7

性別構成比 男性 25.2% 女性 74.8%

(3) 地域密着型通所介護

利用定員 18名 稼働率69.5%

今期についても7月と12月に新型コロナウイルス感染症の影響もあり営業中止を余儀なくされるという事態もあったが、稼働率では前年実績を上回ることができた。行事では外出レク、おやつ作りの他、居酒屋やスナックを設え楽しんでいただいた。

前期同様に機能訓練にも力を入れ取り組んできた。利用者様・ご家族様の意向を尊重しながら、身体機能の維持・向上を目指し、下記の取り組みを実施した。

- ・他職種と共同して個別機能訓練計画書の作成を行なった。
- ・個別訓練（歩行訓練、立ち上がり訓練、立位保持訓練、車移乗訓練、車椅子散歩等）
- ・集団訓練（TV体操・リハビリ体操）



令和3年度 稼働率と平均介護度 ※赤字、新型コロナウイルス発生月

特養	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
稼働率	76.7%	76.5%	80.6%	45.9%	75.9%	78.8%	76.7%	72.0%	56.8%	62.0%	70.6%	61.7%	69.5%
平均介護度	1.8	1.8	1.8	1.7	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.8	1.8	1.8	1.8

年齢・性別（令和5年4月1日現在）

（単位：人）

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳～	計
男性		1	4	5	4	4	18
女性		2	5	8	7	6	28
計	0	3	9	13	11	10	46

令和4年度 要介護度別 構成比

	要支援1	要支援2	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5
構成比	1.9	7.2	39.5	26.2	19.0	5.9	0.2

性別構成比 男性36.8 女性63.2

(4) 居宅介護支援事業所

居宅サービス計画書を作成するにあたってご利用者の心身の状況や生活状況を勘案し、ご利用者やご家族の意向を尊重した上で、住み慣れた地域で自立した生活を送れるようご利用者の立場に立った居宅サービス計画書を作成し支援を行なった。昨年は取手市内のケアマネが不足したことにより、利用者が支援が受けられないという事態が発生、少なからず当事業所への影響もあったと思われる。取手市のケアマネ連絡会主催の研修や会議などにも積極的に参加、他事業所のケアマネージャーとの情報交換や個々のスキルアップを図ることができた。

令和4年度 要介護度別 利用者数推移

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計	82	81	67	77	77	78	79	79	80	82	79	81
要支援1	8	8	8	7	7	8	8	8	8	8	8	10
要支援2	5	5	4	5	5	5	6	6	6	7	8	6
要介護1	44	43	43	41	42	42	40	40	38	38	34	34
要介護2	12	12	1	12	12	11	12	11	12	12	13	13
要介護3	5	5	4	6	5	6	6	7	6	6	6	7
要介護4	7	7	7	6	6	6	7	7	9	9	9	10
要介護5	1	1	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1

4. 行事等活動報告

本年度も新型コロナウイルス感染対策のため、施設行事は規模の縮小、ユニット単位での行事を行った。来期については感染対策を行いつつも通常規模での行事開催が行えるよう検討していく。他、地域の洋品店やローソンと提携し移動販売として自分で買い物するという楽しみの機会を提供した。

- 7月流しそうめん
- 9月敬老会
- 10月秋祭り
- 12月クリスマス会
- 1月おとそ
- 3月お花見



(流しそうめん)



(元旦 おとそ)



(秋祭り)



(敬老会)



(よしや)



(ローソン)

5. 食事提供等

(1) 食事管理

ご利用者様の個々の状態に合わせた食事の形態や適正なカロリー、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、美味しく安全な食事を提供いたしました。嚥下困難な方へのトロミ剤の使用方法及び適正な濃度について統一濃度で提供できる体制を整え職員への周知を行い、ご利用者様に合わせたトロミ形態で提供を行いました。

(2) 行事食の提供

その月の行事や季節の催し物に因んだ行事食やバイキング形式での昼食を行事食とし美味しくまた、見た目にも楽しめる食事を提供いたしました。



(元旦 おせち料理)



(節分)



(敬老の日)

6. 各種委員会活動報告

① 防災委員会

BCP（業務継続計画）の作成。随時見直しを行いながら内容追加・更新を実施。防災訓練においては、指示役との連携など訓練の都度同じ反省が繰り返されていることも確認。改善に結びつけていくための取り組みの工夫について委員会内で検討した。

② 感染・褥瘡栄養委員会

本委員会では、新型コロナウイルス感染予防対応に重点を置いた活動となった。施設内で感染対応を統一する為、県の感染警戒レベルや地域の感染状況に合わせて、随時指示内容を更新してきた。

③ 行事委員会

新型コロナウイルス感染対策から3密を回避して実施できるよう話し合いを行った。

④ 安全対策委員会

各部署ごと発生した事故情報の分析し、発生原因、結果等を取りまとめ防止策の検討を行った。

⑤ 身体的拘束適正化委員会・虐待防止委員会

身体拘束及び虐待に関する施設内研修の実施。

特に身体拘束のグレーゾーンや不適切ケアについて考える機会を多く持つことができた。

⑥ 給食委員会

各フロアから提案される栄養・食事に関する事項やイベント食について意見交換を行った。

7. 研修状況

<施設内研修> オンライン研修含む

4月～9月	権利擁護研修	全職員
4月	アンガーマネジメント研修	全職員
4月	チームリーダー研修	主任・リーダー
5月	床ずれ対策セミナー	全職員
7月	看取り研修 エンゼルケアについて	全職員
7月	新型コロナウイルス感染症対策研修	全職員
9月	茨城県 准看護師卒後研修	看護師 小嶋
9月	デイサービスにおける科学的介護情報システムに関する研修	サービス職員
9月	摂食嚥下研修	全職員
9月	2022年度オンライン海外研修 スウェーデンの高齢者福祉とは	看護師・相談員
11月	栄養ケアマネジメントについて	管理栄養士
12月	認知症専門医から学ぶ周辺症状に振り回されないケア	全職員
令和5年2月	介護保険制度の概要と権利擁護	相談員
2月	認知症のリスクマネジメント	全職員

<外部研修>

8月	対人援助職のための研修	相談員
----	-------------	-----

8. 防災訓練実施状況

6月	新館	・火災発生を想定した防災訓練 ・水消火器による消火訓練
12月	本館	・火災発生を想定した防災訓練

9. BCP（業務継続）訓練

1月～3月	図上訓練	災害発生時における被害を想定し、必要な対応についてシュミレーションを実施
-------	------	--------------------------------------

10. 介護福祉士実習生受け入れ状況

学校名	実習内容	人数
江戸川学園おおたかの森専門学校	介護	3名